



おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 こころあたたかな子

！！！！挑戦と！！！！失敗を

新緑がまぶしい季節となりました。新年度がスタートして、はや1か月。登校してくる1年生の足どりもしっかりしてきました。子どもたちは新たな気持ちで、学習面・生活面に頑張っています。

4月25日（金）に実施しました学習公開には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。おうちの方を見つけて嬉しそうな顔をしたり、いつも以上にはりきって発表したりする子どもたちの姿が見られました。

さて、本校の目指す子ども像は、学校通信のタイトルである「おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 こころあたたかな子」です。それを実現するため、令和5年度・6年度は、道徳科の授業を核として「話したい」「聞きたい」という思いを高める授業を実践してきました。その成果をふまえ、今年度はとくに「おもいを伝え合う」に重点を置き、各教科の授業において、思いや考えを伝えあい、聞きあう活動を充実させ、子どもたちの学ぶ力や生きる力を高めていきたいと考えています。

子どもの行動の裏側には、必ず「理由（思い）」があります。表に現れる「事象」だけをとらえると、「なぜこんなことをするんだろう」「なぜこんなことを言うんだろう」と思いがちですが、よく話を聞いてみると「本当は仲良くしたかった」や「実はこれがやりたかった」など、その行動に至る思いがあることがわかります。一方、理由があれば何をしていても許されるというものでもありません。相手や、周りの人と折り合いをつけながら、自分を律して生活する力も必要です。

子どもは、日々の生活の中で、たくさんのトライ＆エラーを繰り返して成長していきます。私たち大人には、子どもたちが安心して挑戦できる環境と、もし失敗したとしてもそれを糧に成長できる温かい環境を創るという役割があるのではないのでしょうか。

小学校では、自分の思いをもち、それを伝えることができるように、またその思いを尊重して聞いたり、みんなで相談して新しい方法を考えたりできるように、この一年、様々な教育活動を通して子どもたちの力を育んでいきたいと思います。保護者・地域の皆様とともに、温かく、時には厳しく「おづっこ」の成長を支えていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



いつもありがとうございます

「小津学区教育後援会」様には、昭和37年（1962年）の結成以来、小津小学校校区在住の皆様のご支援・ご協力を得て、本校教育に必要なサポートを物心両面でいただいています。地域の皆様の温かいご支援に支えられて、小津小学校での教育活動が続けられますことに感謝いたします。